

山行報告書

作成:2007年1月8日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	水晶岳・野口五郎岳 [北ア]	目的[方法]	高瀬ダムから裏銀座コース
期間	2006年8月9日(水)～11日(金)	形態	単独(小屋泊まり)
参加人数	1人		

行動記録:

8/9(水) 晴れ

自宅・安城(920) ==0:40== 豊田東 IC(1000)==3:00== 豊科 IC(1300) = 葛温泉(1400-1420) = 高瀬ダム(14:40)
 --1:20 - 名無小屋(1600)--0:50-晴嵐荘(16:50) - 0:15 - 噴湯丘 - 0:15 - 晴嵐荘(泊)

8/10(木)晴れ

晴嵐荘(600) --3:10-- 湯俣岳(910-9:25) --4:10--分岐点・真砂岳南(1340-1350) --2:10- 水晶小屋(16:00)
 <ピストン> 水晶小屋--0:35- 水晶岳 -0:30- 水晶小屋(泊)

8/11(金)晴れ

水晶小屋(550) --1:40-分岐点-0:40- 野口五郎岳(810-830)-小屋(8:45) --三ツ岳(1010)--烏帽子小屋(1110)
 <ピストン> 烏帽子小屋(1135)--0:50- 烏帽子岳(1225-1235)--0:35-烏帽子小屋(1310)
 烏帽子小屋(1320) --ブナ立て尾根 3:10 - 登山口(1630) - 0:35- 高瀬ダム(1705-1730)
 ==葛温泉(1740-1820)===大町===豊科 IC===土岐 JC===豊田東 IC===自宅・安城(2230)

日誌:

<8/9>当初は、8/7(月)夜発の予定であったが、台風7号が予想より北向きに方向を変えたため見合わせていたが、さらに東にそれたため、急遽出発することにした。葛温泉では、タクシーがこの時期常時1台ぐらいいは待機している。6人で大型タクシーで高瀬ダムまで行ったので、安上がりに済んだ。高瀬ダムから1時間ぐらいいはダム工事用のいい道が続く。その後は林に入るが道は良く、快適に歩ける。1時間半ぐらいいの所に水場もあり泊まれる名無小屋(無人)がある。そこから1時間弱で晴嵐荘に着く。湯俣山荘は長く閉鎖している。晴嵐荘から15分ぐらいいで湯が吹き出ている噴湯丘に行ける。キュービーの頭のとっぺんからコンコンと湯が湧き出ている。晴嵐荘の泊り客は自分ひとりだけであった。テント場も一人だけで客が少ない。

<8/10>

翌日、竹村新道はずーと上りが続き苦しいが、槍ヶ岳や南の硫黄岳が大変よく見える。3時間あまりだれとも会わなかった。このコースは下りには使われるが、上りは長いのであまり使われないようだ。下りてくる3組の人たちと会っただけだ。南真砂岳付近に雪渓があり、そこで冷たい水を飲み30分ぐらいいのんびりし生き返る。この辺りからは、日光を遮るものがなくカンカン照りで、日傘がほしい。(長野市でも、この日は35℃)7時間以上もかかってやっと目的の分岐点まで来る。(バテバテ)水晶小屋までの尾根は、予想より大きな石がごろごろで長く感じた。小さい水晶小屋であったが、台風のためみんな降りてしまったため客は8人、ゆったりと泊まれた。夕食後、水晶岳へピストンし、頂上から日暮れの雲ノ平やパノラマを満喫した。

<8/11>

今日中に家に帰りたいため、裏銀座コースを急いで北上した。野口五郎岳からの景色はすばらしかった。快晴で、360度パノラマである。加賀白山から富士山まではっきり見える。尾根道にコマクサがいくつか咲いていた。烏帽子小屋で一杯1000円のラーメンをいただいてから、烏帽子岳へピストンする。思ったより遠く、また最後は難所であった。ブナ立て尾根は予想より早く下りられたが、下についてから高瀬ダムまではけっこう長い。最後のトンネルを10分ぐらいい歩くと、ダムに出る。時刻が5時を過ぎていたので誰もいない。タクシー会社に電話して迎えに来てもらう。葛温泉で、足湯に浸かり土産を買って急いで帰路に着いた。

感想:

前からやってみたくらいコースがやれたので満足。竹村新道は上りには長すぎる。天気が良すぎてバテテしまった。日射対策が必要だ。2日で真っ黒になった。しかし、水晶岳からの日暮れの景色、野口五郎からのパノラマはすばらしかった。
 次回は、雲ノ平の方まで散策したいものだ。